

## 山に入るときは、クマに注意してください

鳥獣対策・ジビエ振興室

春を迎え、行楽等で山に入る人も増えてますが、この時期はツキノワグマが冬眠から覚め、活動が活発になる季節でもあり、遭遇の危険性が高くなる時期です。

特に、今年は雪解けも早く、人もクマも早くから活動的になることが予想されます。

山に入る場合には次のことに十分気をつけてください。

### ○ 音の出る物を持って、周囲に十分注意して行動してください。

冬眠から覚めたクマも、芽吹いた山菜類を探して動き回ります。

山に入るときはラジオや鈴など、音の出る物を持って入りましょう。

なお、人もクマも山菜に夢中になって注意が散漫になってしまう可能性があります。周囲に十分に注意して行動してください。

### ○ 子連れのクマに注意してください。

冬眠から覚めたメスグマは子グマを連れている場合があります。子連れの母グマは非常に神経質です。絶対に近づいてはいけません。

子グマだけだと思っても、近くには母グマがいる可能性があります。絶対に近づかず、静かにその場を離れてください。

そのほか、クマに対する注意については、

「ツキノワグマによる人身被害を防ぐために」

<http://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/sangyo/ringyo/choju/joho/onegai/jinshin.html> も御覧ください。

森林づくり推進課 鳥獣対策・ジビエ振興室

電話(直通)026-235-7273

F A X 026-235-7279

choju@pref.nagano.lg.jp